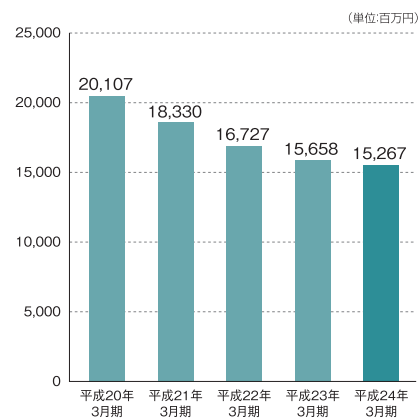


# 当行の業績について(個別)

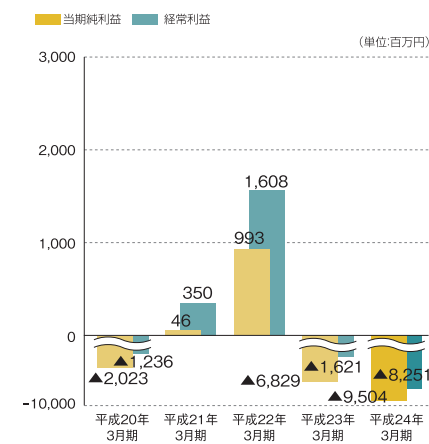
## 経常収益

経常収益は、利回りの低下により貸出金利  
息や有価証券利息配当金が減少したことな  
どから、152億67百万円(前年同期比3億90  
百万円減)となりました。



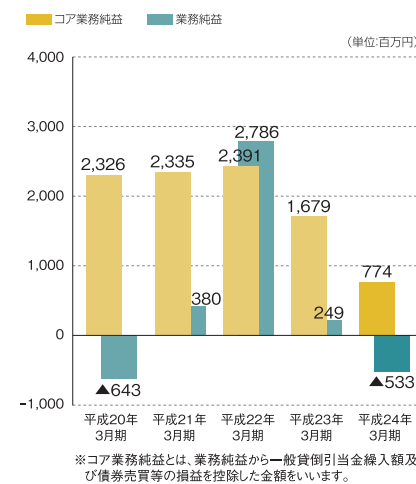
## 経常利益・当期純利益

経常利益は、震災による取引先への影響等を調査の  
うえ出来る限り保守的に自己査定を行い、貸倒引当金44  
億円を追加計上したことや、震災及び世界的な金融市  
場の混乱等の影響により、保有有価証券の減損処理44  
億円を実施したことなどから、82億51百万円の損失(前年  
同期比66億30百万円減)、当期純利益は、95億4百万円  
の損失(前年同期比26億75百万円減)となりました。



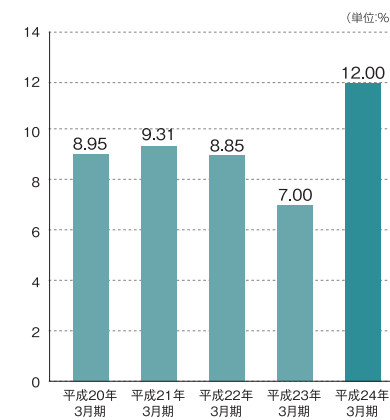
## コア業務純益・業務純益

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益  
は、資金利益が減少したことや経費が増加し  
たことなどから、7億74百万円(前年同期比9  
億5百万円減)となりました。



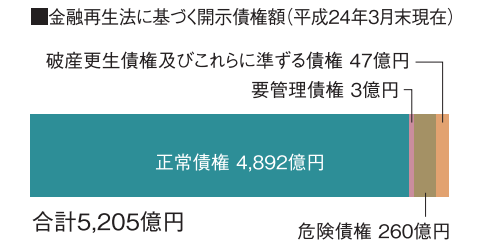
## 単体自己資本比率(国内基準)

単体自己資本比率(国内基準)は、国の資本  
参加300億円による資本増強により、前年同月比  
5.00ポイント上昇し、12.00%となりました。



## 金融再生法開示債権

金融再生法に基づいた資産査定の結果、  
銀行の保有する債権(貸出金・支払承諾見返  
等)のうち、正常債権以外の債権額は、312億  
30百万円(前年同月比119億28百万円増)と  
なりました。



## 金融再生法開示債権の保全内訳

|                   | 債権額(A)  | 保全額(B)  |        |         | 保全率(B/A) |
|-------------------|---------|---------|--------|---------|----------|
|                   |         | 担保・保証等  | 貸倒引当金  | 保全額(B)  |          |
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 4,764   | 3,302   | 1,461  | 4,764   | 100.00%  |
| 危険債権              | 26,079  | 21,018  | 4,013  | 25,032  | 95.98%   |
| 要管理債権             | 385     | 202     | 28     | 230     | 59.64%   |
| 正常債権              | 489,270 | 249,062 | 4,722  | 253,785 | 51.87%   |
| 合計                | 520,500 | 273,586 | 10,225 | 283,812 | 54.52%   |

## 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等  
の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権  
及びこれらに準ずる債権。

## 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態  
及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収  
及び利息の受取りができない可能性の高い債権。

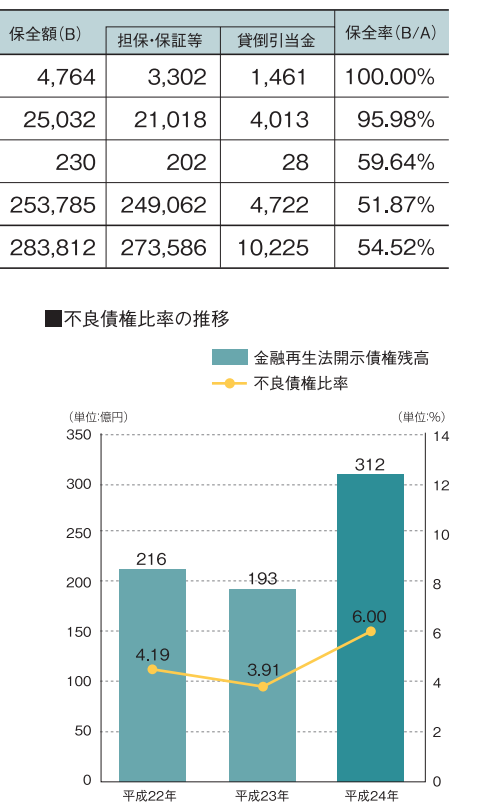
## 要管理債権

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

## 正常債権

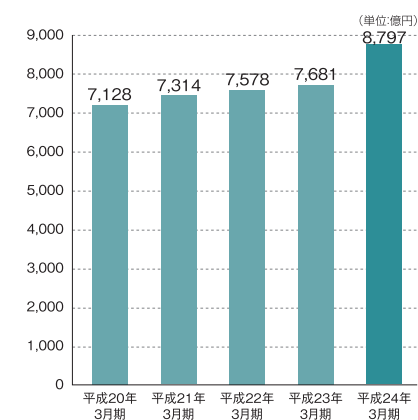
債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないもの  
として、上記3つの債権以外のものに区分される債権。

## 不良債権比率の推移



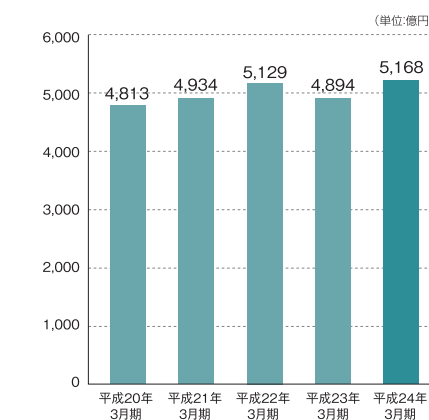
## 預金・譲渡性預金残高

預金・譲渡性預金残高は、震災にともなう保  
険金や義援金等の受入れなどにより、個人預  
金や法人預金が増加したことなどから、8,797  
億7百万円(前年同月比1,115億45百万円増)  
となりました。



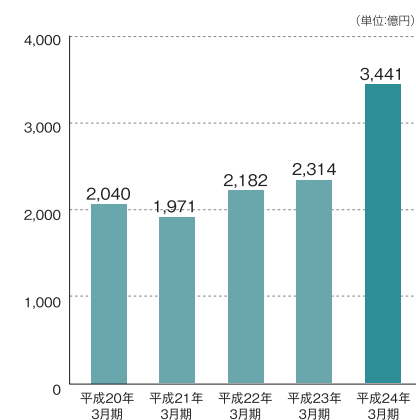
## 貸出金残高

貸出金残高は、中小企業向け貸出や地方  
公共団体向け貸出が増加したことなどから、  
5,168億56百万円(前年同月比274億11百万  
円増)となりました。



## 有価証券残高

有価証券残高は、預金残高の増加にともな  
い、国債を中心に運用額を増加したことなどか  
ら、3,441億71百万円(前年同月比1,126億74  
百万円増)となりました。



## 格付

当行では、第三者機関による評価をととし  
て、財務内容の健全性と経営の透明性を積  
極的に開示していくことにより、株主やお取引  
先の皆さまに当行の経営状況をより深くご理  
解いただくことを目的に、株式会社日本格付研  
究所(JCR)より格付を取得しております。

格付機関  
株式会社日本格付研究所(JCR)

格付種類  
長期優先債務格付

格付  
BBB-(トリプルBマイナス)

見通し  
安定的

(平成24年6月末現在)

